

平成 17 年度 事業報告

平成 18 年 5 月 2 6 日

1. 事業実施概要

平成 17 年度は、脳卒中、睡眠障害、高齢者の筋力向上に関する研究の 3 本柱で事業を行った。

脳卒中研究は、福島、松下、柞磨研究員が担当した。脳卒中および血管内治療データベースを整備し、それらのデータを統計的に分析し、日本脳卒中学会、公衆衛生学会などで発表を行った。今年度も引き続き、脳神経センター大田記念病院と協同し、これらの活動を行っていく予定である。平成 18 年度の大きな目標としては、血管内治療の症例集を作成すること、および国内外で論文発表を行うことである。

睡眠障害研究は、森（4 月より病院に移籍）、湯浅（一身上の理由により退職）研究員が担当した。睡眠障害研究は、平成 18 年秋より明神館研究所に研究主体が移行することから、明神館における事業計画の立案、施設準備を重点的に行ってきた。現在、ハード面も含めて整備が進んでおり、平成 18 年度からは、研究発表数も飛躍的に増加すると予想される。研究テーマとしては、高齢者の低呼吸症候群に対する治療などを予定している。

フィットネス渋谷を研究フィールドとした高齢者の筋力に関する研究は、三村、土屋（一身上の都合により退職）、坂川研究員が担当した。昨年度より厚生労働省の事業助成を受け、フィットネス先進国である米国の事情を知るための海外視察、調査研究を行った。これらの結果については、厚生労働省に報告済みである。今年度は、松崎研究員を迎え、高齢者に対するパーソナルトレーニングに関する研究を予定しており、引き続き厚生労働省の助成を申請する予定である。

2. 事業報告

脳卒中研究班：

「急性期高齢脳梗塞患者における血管内治療の実態」 担当 福島朋子

睡眠障害研究班：

「幼児の睡眠習慣に関する調査」 担当 大田章子

高齢者の筋力に関する研究班：

「平成 17 年度厚生労働省老人保健健康増進等事業の報告」 担当 大田章子

3. 業績

学会発表

1) 萩原章子, 伊藤直美, 数間恵子. 「高齢者の起き上がりによる血圧変動について」. 第 47 回日本老年医学会学術集会; 2005 Jun 15-17; 東京, 日本; 2005; 42(suppl):p.62.

2) 福島朋子, 大田慎三, 大田章子, 大田浩右. 「急性期高齢脳梗塞患者における血管内治療の実態」 第 47 回日本老年医学会学術集会; 2005 Jun 15-17; 東京, 日本

3) 大田慎三, 福島朋子, 大田章子, 大田浩右. 「当院におけるくも膜下出血治療の現状～開頭手術・血管内手術別の検討～」 第 47 回日本老年医学会学術集会; 2005 Jun 15-17; 東京, 日本

4) 大田慎三, 後藤勝弥, 佐藤倫由, 島田隆一, 小埜聡司, 土田和幸, 柏木淳之, 田上秀一, 佐能 昭,

福嶋朋子, 佐藤昇樹, 大田浩右「開頭手術(NC)から血管内手術(CE)への推移 - 破裂脳動脈瘤の治療法選択の基準と治療成績の検証」第 21 回日本脳神経血管内治療学会総会:2005 Nov 9-11; 和歌山,日本

5) 青木志郎, 井上 勲, 福嶋朋子, 末田芳雅, 河野 智之, 北恵詩穂里, 森本 展年, 高松和弘, 大田浩右, 「脳卒中急性期・慢性期における血圧管理の現状」. 第 31 回日本脳卒中学会総会; 2006 Mar 18-20; 横浜, 日本

研究報告書

- ・ 大田浩右, 大田章子, YosukeChikamoto, Yumiko Nishimura. 平成 17 年度老人保健健康増進等事業報告書 米国における高齢者フィットネスの実態 . 2005
- ・ 伊藤直美(研究代表者), 萩原(大田)章子, 澤井和彦, 数間恵子. 日本版 PASE の作成とそれをを用いた地域在住高齢者の身体活動の実態把握. ユニバーサル財団 平成 15 年度研究助成 研究報告書. 2005.

翻訳

- ・ 福原俊一, 数間恵子 監訳. 伊藤直美, 大田章子, 柴山大賀(分担). QOL 評価学 測定,解析,解釈のすべて. ピーター.M.フェイヤーズ, デビッド.マッキン. 東京: 中山書店; 2005. (Peter M Fayers, David Machin: Quality of Life Assessment, Analysis and Interpretation. New York: John Willy & Sons; 2001.)

事業参加

- ・ 脳神経センター大田記念病院虹の会総会での健康ブース出展 (平成 17 年 11 月)
- ・ 日本公衆衛生学会 企業展示への参加 (平成 17 年 9 月)

4. 研究助成など

1) 研究助成

広島大学医学部 (担当 松本昌泰氏) に対し、500,000 円の研究助成をした。

東北大学流体科学「脳動脈瘤および脳内疾患におけるシュミレーションの研究開発」(担当 太田信氏) に対し、2,000,000 円の研究助成をした。

2) リサーチレジデント

研究課題「カナダにおける医療システムの視察」 西田正博氏に対して 525,000 円の助成をした。

3) 高齢者保健医療福祉助成

市民への痴呆予防の啓蒙活動を行っている脳神経センター大田記念病院金子満雄先生の脳リハビリに 対し 1,312,861 の助成をした。

脳卒中ネットワーク (備後地区の脳卒中医療の改善を目的に関連施設の地域連携を進め、治療レベル向上、脳卒中予防啓発活動) に対して 350,000 円の助成をした。

岡山病児保育大会に対して 500,000 円の助成をした。